

NO	保育園園舎に関する事	保育園周辺整備に関する事	保育園の運営に関する事
1	<p>・園舎を木造建築にしていきたい。 理由:町内木造建築関係者の技術向上継承、また保護のため。国が地球温暖化対策として木材の利用を推進している。特に、低層建築物は、木質化を推奨している。 新潟県内事例:十日町市森の保育園(あおのもり)、南魚沼市浦佐、認定こども園等。</p>		
2	<p>・耐震・耐火・耐雪等の構造や予算、3歳児以下の部屋であることなどを考慮し、設計したのだと思いますが、この計画では子どもたちが伸び伸びと元気に生活する姿を想像することができません。予算を考慮し、ある程度グリット化されたプランになることはしょうがないとしても、構造を木造にして木のぬくもりに包まれたような保育園にすることはできないでしょうか。1園にすることは、反対しませんが、早急に保育園を整備しなければならないからと言って、このコンクリートの保育園に10億かけることは間違っていると思います。</p>	<p>・自然豊かな津南町で子育てするのに、周辺の森を切り倒して保育園を建設することに違和感を感じます。保育園周辺にある森があることは子どもの成長にとって、とてもよい影響を与えてくれるのではないのでしょうか。</p>	
3	<p>・室内に自然の光や風を引込む快適な環境を目指してください。 ・法的制限がある中でたくさんの木を使った内装及び家具を選定してほしいです。</p>	<p>・安全面への配慮が大前提ですが、子どもたちの遊び場である既存の森を可能な限り残す計画で進めてください。現在のひまわり保育園がとても良い環境であると感じています。</p>	<p>・新しい保育園は、既存施設及び周辺環境の快適さを超える計画でなければならないと思っています。現状以上に子どもたちがワクワク楽しい施設となるよう令和時代に適した保育園施設を目指してください。具体的には様々な建築的手法があると思いますので、設計者様や教育委員会様、関係者様の手腕にかかっています。豪雪地帯ではありますが、今ある様々な建築家が手掛けた最先端の保育施設を参考にして、デザイン性も機能性も妥協しない津南町らしい保育園を目指してください。実施設計者の選定方法が未定とのことでしたので、コンペもしくは、プロポーザル等の設計競技が実施となった場合、是非参加させてください。また、コロナウイルスの影響がありますので、慎重かつ丁寧に議論してほしいと思います。</p>
4	<p>町内事業者中心にコンペを行ってください。 ・ホームページに載っている設計図は平成29年に作られたものだと聞いておりますが、その際にコンペは行っておりません。しっかりとコンペを行い、町内の意見を取り入れた最善の設計図を実施設計としてください。各設計者間の平等性を担保してください。私は29歳男性で、27歳の妻や年の近い親世代の知り合いが多いたが、その多くが現状の設計については「町内の若い設計士さんに任せたい」「津南町外から入園者を呼び込むならデザインは重要」「平等にコンペをしてしっかり広報してほしい」などの意見です。 今回の保育園の設計に津南町の未来がかかっており、多額の税金も投下される超重要案件です。何卒、慎重に事を進めていただくと、お願いいたします。</p>		
5	<p>未満児保育の充実からの新園舎ということですが、確かに未満児の入所希望は年々多くなってきて1園化に向けての方向性としては重要視することは必要かと思いますが、しかし、今回の図面の公開ではあまりにも未満児の保育室にこだわりすぎて津南町の保育園としての1園化を意識し今後の検討を願います。 ＝提案事項＝ ・4歳児の保育室が図面上で1階と2階に離れる配置の保育環境を検討。 ・新園舎のとて広いホールに面した保育室を5歳児に提案。 ・0歳児の保育室がとて充実しているように見えるが子どもの成長の速度に見合っているか。同じ保育室が2つあるが、保育環境に有効活用しにくいのではないか(0歳児のトイレスペースの見直しの含め)。 ・月齢により、生活と遊びの空間が現場の保育者が工夫しやすいように。 ・津南町は今後8ヶ月から入所であるが、今後産休明け2ヶ月からの受入も想定しているかにも大きく関係してくると思われる。 ・未満児は3クラス運営を基盤に設計がなされているが、将来的な出生率を見直し保育室のオープンスペース的な移行が工夫しやすい保育室にしてはどうか。 ・1歳児用のトイレは廊下を挟んでいるがトイレトレーニングが頻繁になる年齢なので保育室隣接が望ましい。 ・未満児室を廊下でつなぐ動線が長すぎることで子どもを含め保育者の動きの把握、共有ができにくく、クラスでの孤立感がしやすい。人を感じる空間の工夫が年齢的に大事である。家庭的な空間環境。教室ではない。 ・給食室の横長の配置では感染症時にはリスクが伴う。(未満児からの感染症の発生があるので廊下を挟んでいるためリスクを伴う事になる。配置を移動すると2階が全面ホールとなり、配膳エレベーターの位置を検討) ・職員の事務室の使い方をどのように今後検討し改善するのか。(全ての職員にデスクを置くのか?保育事務の見直しで保育室でのデスクワークを進め、会議室とする、来客対応スペース、個人カンファレンス室の設置など) ・園児玄関に登園確認システムの導入による玄関設定(保育料の確実な把握、給食室への人数伝達等も考え)是非、新園舎には考えてほしい。保護者の保育料無償化の意識リスク軽減にもつながる。 ・玄関フロアの冬場の凍結、滑りやすくなるタイル張りから配慮工夫。送迎バスからの乗降車の安全。 ・駐車場の冬場の除雪について、広範囲の駐車場は良いが除雪を保育者が行う事は避けてほしい。 ・保育室に全面にテラスが設置となっているが幅的に中途半端な広さでは使えなく物置になりそう。清潔に維持できるような水で掃除できる排水が整っていたり、ヨチヨチ歩きの子どもたちが裸足でも出れるような耐水スノコの設置も考えてほしい。使えるテラス。 ・新ホールに移動式ステージ。(収納が可能であれば一番) ・新ホールの室内遊具の構想も考慮しておくことよい。3歳以上が使う事を前提で、旧ホールはスロープを使い未満児設定広場。(例:室内ジャングルジムの安全性、ぶら下がり等)身体的な発達には大事。</p>	<p>・森がなくなることにより、意図的な自然な木々、植物が園庭に用意することで自然と触れ合える津南っ子に育つ。草取りが大変だが、土が豊富にあり、芝生で寝転ぶような公園感覚 ・周辺の水の流れ(小川)を取り入れられたらいい。 ・周囲の道路から出入りができないように安全柵はもちろんであるが、恵福園等の高齢者とも触れ合えるような園庭＝公園 ・除雪対策の考慮(消雪パイプは埋め込み、除雪車も入れる)</p>	<p>自分で自分の生き方を切り拓く強くて優しい子 この理念を文字で終わらせることなく、保育現場でより具体的な子どもたちの姿に照らし合わせた保育を望みます。(例)・早寝早起き:自分ついで目覚められる事ができる生活が目標(自立)・メディア・コントロール取組の見直し:将来避けては通れないメディア社会での生き方＝今が良ければいいのではなく子どもの将来を見通せる大人の意識を専門的に示唆しながら、一緒に考えていく保育。 子どもを主体的にした保育 ・自分でやりたいことを決め、失敗しても自分で乗り越えていく姿。 ・子どもは社会的な人間なので勝手な生き方はしない。規律や集団を意識できる事を保育者との信頼できる関係性の上で身につけてほしい。 ・子どもが選択できる選択肢がある保育(自由ではない) ・やりたい気持ち(欲求)の表現から学ぼうとする力。 ・子どもの成長に保育という仕事を通して最善を尽くす一番身近な大人である自覚と喜びを持ってほしい。⇒1園化に伴い園としての社会がとても大きくなる事でいろんな弊害も出てくるのではないかとと思われる。⇒働きにくさ。 ・見通しができない、保育が共有できない事のズレ(個々に解決できない事を出し合いどうするか?自分たちが働く現場として職種の違いはあるにせよ、誰のために今ここで仕事をするのかをかぶらせない事は大事だと思う)⇒常に問いかける事、現場で保育や子どもの姿を語れる園であってほしい。</p>